

2026年7月1日

関係各位

一般社団法人 日本アド・コンテンツ制作協会

JAC 撮影時稼働上限ルールに関する宣言

一般社団法人日本アド・コンテンツ制作協会（JAC）は2026年7月1日付で「JAC 撮影時稼働上限ルールに関する宣言」を発出いたします。

本宣言は「JAC 映像制作ガイドライン（5 団体広告制作ガイドライン補完版）」に基づき、加盟各社における制作業務の参考指針を改めて提示するものです。

特に撮影時におけるスタッフの稼働上限の設定を重要な原則であると認識しています。

- ① 準備・撤収、休憩・食事を含む1日の作業・撮影時間は、原則として12時間以内とする。
- ② 12時間を超える作業があった場合、翌日の稼働開始までに10時間以上のインターバルを設ける。

本ルールの徹底は、質の高い映像表現の実現、事故のない安全な現場の確保、次世代を担う人材の育成につながるものであり、業界全体の価値向上に寄与するものと考えます。JACは本ルールの遵守を通じて、持続可能で健全な制作環境の実現に関係各社が取り組む事を期待します。

広告主様および広告会社様におかれましては、本趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関連文書

[持続可能なパートナーシップ構築のための 広告制作プロセスマネジメントハンドブック 2025 年度版](#)
[JAC 映像制作ガイドライン（5 団体広告制作ガイドライン補完版）](#)